

令和2年度
教育委員会の事務の点検・評価報告書
(令和元年度事業分)

令和2年9月

始良市教育委員会

目 次

I	教育委員会点検・評価制度の概要等について	1
II	教育委員会事務局の点検・評価について	3
	教育委員会事務局	
	(1) 教育総務課	3
	(2) 学校教育課	4
	(3) 社会教育課	5
	(4) 図書館事務局	7
	(5) 保健体育課	7
	(6) 国体推進課	9
III	教育委員の点検・評価・意見・要望等について	10
IV	外部評価委員の点検・評価・意見・要望等について	19
	【資料】	
	教育委員・外部評価委員名簿	34
	始良市教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則	35
	始良市教育委員会外部評価委員会規程	36

I 教育委員会の点検・評価制度の概要等について

1 制度の概要について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）の一部改正により、平成20年度からすべての教育委員会が、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」を行い、その実施に当たっては、学識経験者の知見活用を図るものと規定された。

また、その結果については議会へ報告し、市民に対して公表することも規定されている。（以下「条文抜粋参照」）

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む)を含む)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 始良市教育委員会の点検・評価の実施方針について

始良市教育委員会において、令和元年度に実施した事務事業の内容について、始良市の教育(教育行政要覧)の各課重点施策を基本に、評価項目を75の項目に分類する。そして、事務事業自己点検・評価シートを作成し、教育委員会事務局内部で評価を実施した後、各教育委員の点検・評価を受け、その後、教育に関し学識経験を有する5名で組織する外部評価委員会を2回開催し、点検・評価実施後に、報告書を取りまとめる。

9月定例教育委員会での議決を経て、令和2年第3回定例会(9月議会)へ提出する。

また、報告書は令和2年10月以降に、始良市のホームページ等を活用して市民への公表を行うこととする。

3 評価点数結果及び各課の評価項目件数について

75 評価項目の合計評価点数は平均 4.4 点、始良市教育振興計画に基づく取組の着実な実施と、子育て基本条例に基づく社会全体の協働による子育て・人づくりのための具体的施策を展開した。

評価項目は、教育総務課 8 項目・学校教育課 12 項目・社会教育課 31 項目・図書館事務局 4 項目・保健体育課 10 項目・国体推進課 10 項目で、合計 75 項目である。

4 評価点数について

評価点数は 5 段階評価とし、以下のとおりとする。

評価	評価の基準等	目標等達成の目安
5	目標を十分に達成し、期待以上の成果が得られた。	8割～10割
4	目標を概ね達成し、ほぼ期待どおりの成果が得られた。	6割～8割
3	目標を半分以上達成し、ある程度の成果が得られた。	4割～6割
2	目標をあまり達成できず、成果が少なかった。	2割～4割
1	目標をほとんど達成できず、成果がなかった。	0割～2割

5 令和2年度の自己点検評価報告書作成スケジュール

日 程	内 容
7月15日(水)	定例教育委員会での外部評価委員委嘱の承認
8月 3日(月)	第1回外部評価委員会の開催 (教育委員会自己点検評価結果報告及び外部評価の依頼)
8月4日～8月16日	外部評価委員から評価シート 受領
8月27日(木)	第2回外部評価委員会の開催 (外部評価結果のまとめ及び自己点検報告書(案)の策定)
9月4日(金)	自己点検・評価報告書の作成
9月15日(火)	定例教育委員会に点検・評価結果報告書の議案提出
9月下旬	市議会第3回定例会へ点検・評価結果報告書の提出
10月	市民への公表(市ホームページに掲載)

II 教育委員会事務局の点検・評価について

1 教育総務課

『教育委員会の活性化の推進』については、定例会開催日を固定化し概ね委員全員の出席がなされた。資料配付は3日前までに確実にを行うことで事前検討を促し、必要に応じて詳細な補足資料を準備することで、理解を深め活発な協議が行われた。

条例・規則議案については、規則等審査委員会で十分に検討したうえで定例会に諮り17件の制定・改廃を行った。その他、予算議案等、計30件の審議を行った。

また、県・地区主催の研修会、市独自の県外研修で様々な事例や取組を研修することにより、教育委員としての研鑽を深めた。あわせて教育委員会の主催行事に積極的に参加した。特に学校訪問では、学校経営の説明をうけ、授業状況や支援のいる子どもたちが増えている現状を実際に確認することができた。

『適正な人事管理業務の推進』については、職員に様々な研修会への参加を促すとともに、教育委員会職員研修、用務員研修等を行い、資質向上、服務規律の確保に努めた。また、市の人事評価制度に沿って面談等を行い、個々の業務管理や健康状態の把握に努めるとともに、健康に対する意識高揚のため積極的な健康診断の受診を促した。その他、会計年度任用職員への制度移行にともない、説明会を職種ごとに行い採用面接を全員に対して実施し、適正な採用に努めた。

『適正な財務事務の推進』及び『良好な教育環境整備の推進』については、事務職員研修会で、財務会計のシステム操作・処理手順を現場の質問や誤りを考慮した資料を作成し現場にあった指導をすることで、適正な予算執行に努めた。

教育環境整備としては、全ての幼稚園、小・中学校の教室、職員室等に空調機を設置した。部材不足等が心配される中、現場管理を徹底し工期内の9月までに完了することができた。あわせて空調設備運用のガイドラインを作成し適正な利用を促した。

その他、2カ年事業の学校施設の長寿命化計画の策定を開始した。

外部評価委員の8項目評価点は平均 4.9 点

□ 各事業の主な成果と課題

(1) 職員研修は、市役所全体の研修のほか年度当初の教育委員会の研修、夏季に用務員研修（刈払機講習会）を実施した。各種健康診断は436名が受診した。

会計年度任用職員制度説明会を職種別を実施し、262名の採用面接を実施した。

(2) 学校事務職員研修会を4回開催する中で、財務会計・備品管理のシステム研修を行い、財務事務の円滑な執行に努めた。

(3) 施設整備は、全ての幼稚園、小・中学校の教室、職員室等に空調機を設置した。

三船小学校の児童増にともない老朽化した家庭科室・給食室等を解体し特別教室棟を新築、老朽化した重富中教頭住宅・重富小校長住宅・三船小校長住宅を解体、西浦小学校の体育館屋根防水工事等を実施した。

その他、今後の課題となっている、トイレの洋式化、照明のLED化、大規模改修を視野に入れた、学校施設の長寿命化計画の策定を開始した。

2 学校教育課

学校教育課では、令和元年度に『規範意識を養い豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進』『能力を伸ばし、社会で自立する力をはぐくむ教育の推進』『児童生徒や保護者、地域に信頼される学校づくり』の三つを重点施策に掲げ、その充実に努めた。

『規範意識を養い豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進』については、学校、家庭、地域が協働して児童生徒の道徳性をはぐくむ事業の展開を図った。また、各小・中学校の生徒指導上の課題、特に不登校の問題については、学校の指導が機能するよう相談活動、家庭環境の改善のための人的配置、ネットワークづくり等を行い、児童生徒の学校・家庭生活の改善につながる事例が増えた。

『能力を伸ばし、社会で自立する力をはぐくむ教育の推進』については、学力向上に関する各種の事業の成果として、諸学力検査結果が多くの教科等で全国平均・県平均を上回った。中山教育基金を利用して平成26年度から開始した取組である「スーパーサイエンス総合推進事業」においては、児童生徒の科学に対する興味関心を高める事業を展開・実施することができた。また、特別支援教育の充実に努める中で、適切な就学相談、授業での指導の在り方を話し合う協議会を実施し、そこで話し合った内容を踏まえ、保護者支援、学校支援を行った。さらに、キャリア教育の推進についても協議会を開催し、その充実に努めることができた。

『児童生徒や保護者、地域に信頼される学校づくりの推進』については、管理職等の研修会や校長面談を通し、学校経営についての改善充実に努めることができた。

また、小規模校・複式教育についても研修会を行い指導法の充実に努めた。

外部評価委員の12項目評価点は平均 4.5 点

□ 各事業の主な成果と課題

- (1) 「モラリティ・インクルーブメント推進事業」で、帖佐小学校が実践発表を行い、保護者や地域の方々が多く参加する中で、学校・家庭・地域の三者協働による道徳教育の推進について理解が深まった。同様の趣旨で、小・中・高等学校生のスピーチ・コンテストを含む市民向けの行事「ハートフルあいらんど」を開催した。さらに、地域ではぐくむ道徳教育の一助として、「道徳教育を充実させるために～中学校授業サポート資料」を作成するとともに、「みんなのカレンダー」を小学校全家庭に配布し、好評価を得た。
- (2) 「スクールカウンセラー配置事業」や「スクールソーシャルワーカー配置事業」等の活用により、不登校等の問題に対して学校と家庭・関係機関との連携が密にとられ、ケース会議等を通じ組織的な対応をするなどの細かな対応が充実してきた。保護者に対する相談活動や学校になじめない児童・生徒のための一時的な居場所づくりも進み、多面的な支援が充実してきている。また、「スクランブルカウンセリング事業」においては事件・事故に対応して、児童生徒や保護者に緊急のカウンセリングを効果的に実施することができた。
- (3) 教職員向けの各種研修会では、「教職員の指導力を向上させることで学力向上を図る」という基本的な考えに基づき、多様な研修会を実施できた。研修の成果として、児童生徒の学力については、一定の成果が出ている。

- (4) 「スーパーサイエンス総合推進事業」では、リーダー養成等を意図した講座や東京科学施設の視察及び科学への興味・関心を高めるイベントである「サイエンスあいランド」を開催し、市内の児童生徒の科学的な見方・考え方を育てることができた。
- (5) 特別支援教育の充実として、特別な支援の必要な児童生徒のいる小・中学校に特別支援教育支援員54名を配置するとともに研修会を開催することにより、適切な介助や学習支援等を行うことができた。また、市特別支援連携協議会により、各関係機関と連携を図り特別支援教育の充実が図られた。
- (6) 校長研修会では、明確なビジョンを持ち職員に基本方針を浸透させるための心構え、現状分析、職員指導を、教頭研修会では、校長の経営方針に基づいた確かな職員指導をテーマに研修を深めた。成果として、それぞれの技量を高めることができ、学校の課題解決への取組や学校経営の充実に生かすことができた。

3 社会教育課

社会教育の基盤づくりでは、社会教育委員の会の活動として、研究テーマに基づく協議により研究のまとめを作成した。また社会教育関係職員や社会教育指導員、各種団体の指導者の研修会等への積極的な参加促進に努めた。

青少年育成事業では、異年齢間による普段の生活では体験できない多様で価値ある体験活動の機会となる「あいら未来特使団」「AIRAふるさと学寮」「AIRAふるさとチャレンジャー」等を実施した。

社会教育推進事業では、国・県の委託事業「地域で支える家庭教育推進事業」を受け、ラジオ番組の制作や家庭教育フェスティバルの開催、子育て手帳の活用啓発等を実施した家庭教育推進事業及び成人教育の充実を図るための女性学級(あやめ学級)や高齢者学級(ゆずり葉学級)の開設等に取り組んだ。

生涯学習の推進では、生涯学習推進会議の開催による市全体での生涯学習推進体制の構築や、生涯学習フェアでの個々の活動や学習内容の発表、基調講演など生涯学習の振興や学びを地域づくりに生かしていこうとする機運の醸成に努めた。

芸術文化活動の振興では、小中学生を対象とした青少年劇場や訪問演奏会及び市文化芸術祭や始良10号美術展など市民の芸術鑑賞の機会の提供に取り組んだ。

公民館をはじめとする社会教育施設では、それぞれの施設の特性を生かした事業の実施や生涯学習の活動拠点として安定的な運営が図られるよう施設設備の管理に取り組んだ。

指定・登録文化財の保存・活用では、宇都窯跡保存処理、加治木島津屋形石垣修復、蒲生のクスの継続的な天然記念物再生事業に取り組んだ。また始良市誌の基礎史料となる「始良市誌史料八」及び市内の豊富な文化財を紹介する「文化財ガイドブック(蒲生・木津志・北山・山田地区)」並びに島津義弘公没後400年記念事業の一環として「島津義弘公物語」を刊行した。

埋蔵文化財の保存・活用では、県農村整備課所管の農地中間管理機構関連農地整備事業に伴う住吉地区の前田遺跡発掘調査を実施し、遺跡からは、縄文時代中期のドングリ貯蔵穴群が発見され、令和2年度も継続して発掘調査を行うこととなった。

郷土芸能の保存・育成では、保存会と連携協働した芸能発表や後継者育成・活動支援を目的とした補助金の交付を行った。また歴史民俗資料館での島津義弘公没後40

0年を記念した特別展「島津義弘 乱世を駆け抜けた英雄」と東京大学史料編纂所教授山本博文氏を招聘した記念講演会を開催し、多くの来館者があり好評を得た。

外部評価委員の31項目評価点は平均 4.4点

□各事業の主な成果と課題

- (1) 社会教育委員の会では、県・地区での家庭教育支援研修会で家庭教育サポーターと共同で子育てサロンに取り組み、研究テーマに基づく実践の機会をつくる等、活動の場を広げることができた。今後、各種団体の指導者に対し、社会教育リーダー研修会への積極的な参加を促し、スキルアップや資質向上を図るとともに、社会教育課事業でリーダーの活用が図られる機会の設定や、地域の活性化につながる取組に努めたい。
- (2) 「あいら未来特使団」「AIRAふるさと学寮」「AIRAふるさとチャレンジャー」等、青少年育成事業では、青少年の自主性や協調性、社会性を培う機会の提供に努め、個々の資質向上やリーダー育成につなげることができた。「あいら未来特使団」の富士登山では、今回初めて参加者全員が登頂することができた。また、成人式では、外国人技能実習受入事業所との連携により外国籍の成人14人の参加があり、今後も共生社会を目指した事業の充実に努めたい。地域学校協働活動SSVC+事業は、コーディネーターや家庭教育サポーターを各小中学校区に配置し、学校を核とした地域づくりを推進する基盤づくりに取り組んだ。
- (3) 家庭教育推進事業は、国・県の委託事業「地域で支える家庭教育推進事業」に委託期間の最終年度として取り組んだ。家庭教育サポーターが実施する「子育てサロン」は、小中学校・公立幼稚園の家庭教育学級で好評であり、県や地区が開催する家庭教育支援研修会において事例発表を行った。今後は、事業所と連携した家庭教育推進の事業内容に取り組むたい。
- (4) 社会教育施設では、施設・設備の維持保全に努めながら、施設の特色を生かした事業や講座を開設し、充実した施設の運営が図られた。今後も利用者に対して、環境整備とともに職員の接遇を充実させ、きめ細やかなサービスに努めたい。
- (5) 芸術文化活動では、市文化芸術祭で「みやまおとどけコンサート」としてプロの芸術家を招き、例年以上に多くの来場者があった。今後も児童生徒をはじめ多くの市民に芸術鑑賞の機会の提供や、芸術文化団体の育成、市文化芸術祭や始良10号美術展の開催等、芸術文化活動の振興・充実に努めたい。
- (6) 文化財の保護と活用では、今後も蒲生のクスの天然記念物再生事業に取り組み、樹勢回復や根系の保護を継続して行っていく。始良市誌史料や始良市文化財ガイドブック等の刊行は、市内の豊かな文化財とそれにまつわる歴史にふれ郷土を深く知ることができる資料となっている。学校への出前講座や史跡めぐりの実施、歴史民俗資料館での島津義弘公没後400年記念の特別展や加治木郷土館でのテーマ展示、ふるさと歴史講座を実施など、郷土教育の充実と施設の活用に努めた。郷土芸能の保存・育成では、郷土芸能保存団体17団体に補助金を交付し、後継者育成と保存活動支援を実施した。

4 図書館事務局

図書館のサービス業務の充実では、平成30年度から中央図書館・加治木図書館で祝日開館を実施し図書館の利用促進を図った。図書館資料の収集は、種々の選書ツールを活用し、社会情勢や利用者のニーズを把握しながら幅広い資料収集に努めた。施設整備においては、中央図書館開架室の照明24基をLED照明に交換する工事を行い、環境整備に取り組んだ。

読書活動の充実では、子ども読書活動推進事業で学校給食と本をコラボさせた「ものがたりレシピをいただきます」事業を実施し、児童生徒が読書に関心をよせる機会を提供した。また健康増進課が実施する3ヶ月健診に合わせ、読み聞かせや絵本をプレゼントするブックスタート事業を実施し、乳児が本と触れあう機会の提供や子育て支援に取り組んだ。

ネットワークの充実については、県立図書館、県内の公立図書館との相互貸借や鹿児島連携中枢都市圏による広域利用などネットワークを活かした幅広い図書館サービスに努めた。またWebサービス利用促進やホームページの更新による広報を行い、利用者へのサービス向上に努めた。

外部評価委員の4項目評価点は平均 4.3 点

□ 各事業の主な成果と課題

- (1) 中央図書館・加治木図書館の祝日開館の実施が定着し祝日の利用者も増え、図書館全体の貸出人数・貸出冊数も増加した。「ものがたりレシピをいただきます」や、出前読み聞かせ等、学校や関係課と連携し児童生徒への読書活動推進事業を実施することができた。ブックスタートやおはなし会は、子どもだけでなく保護者も本に親しむきっかけとなることから、今後の図書館利用につながるよう内容の充実を図りたい。また、装丁や読み聞かせ、朗読のボランティア団体との連携協働による図書館サービスの提供の充実と併せて各団体の育成支援に努めたい。
- (2) 各図書館（室）間において、返却資料の配送や予約資料の受け渡し業務を円滑に実施した。今後は、地区公民館図書室への資料の配送を定期的に行い、地域への図書館サービスの拡充を図りたい。また図書館システムの安定稼働、セキュリティの維持・向上を図りながら、Webサービスの利用促進やホームページの更新等、利用者サービスの向上に努めたい。

5 保健体育課

『生涯スポーツの推進』については、市スポーツ推進委員の活動の充実を図るとともに、スポーツ・レクリエーション活動を通して市民が生涯スポーツを実践しながら健康増進に努め、仲間との親睦を深められるよう各種スポーツイベントを開催した。

『競技スポーツ、スポーツ環境整備の促進』については、体育協会等の団体に補助金を交付し、組織の強化と競技力の向上を図るとともに、全国大会等へ出場する個人や団体に対しては奨励金を交付するなど、その活動の支援を行った。

また、市内の各体育施設については、市民がスポーツ活動を実践するための拠点であることから、器具の保守点検や備品の充実にも努めるなど、環境整備を図った。

『体力・運動能力の向上』については、運動に興味や関心を持ち意欲的に運動に取り組む児童生徒の育成を目的とした体育主任研修会の開催や、市内全小・中学校で実施した「体力アップ！チャレンジかごしま」などに取り組んだ。

また、体育連携推進事業として実施した剣道の講習会では、「始良市体育・スポーツ振興等に関する協定」に基づいて招聘した日本体育大学剣道部員による実技指導により、小・中学生の競技力と指導者のスキル向上を図った。

『健康教育の充実』については、学校保健安全法に基づいて、児童生徒及び教職員の健診や就学児健診を実施し疾病対策に取り組んだ。また、児童生徒の安全については、「始良っ子見守り隊」やスクールガードリーダー・通学路安全アドバイザーによる登下校時の指導等、多くの関係者の協力を得ながら事件や事故の未然防止が図られた。

『食育の推進』については、安全で安心な学校給食の提供のため、調理従事者の健康管理や厨房機器・食器類などの適正な使用による衛生的な環境の保持に努めたほか、調理従事者のスキルアップを目的とした研修会を開催した。

また、学校における食育の推進については、栄養教諭の研究によって、児童生徒が食への感謝や理解を深めるための指導が行われた。

外部評価委員の10項目評価点は平均 4.2 点

□各事業の主な成果と課題

- (1) かごしま国体開催1年前イベントとして企画した「あいらスポーツフェスタ」では、鹿児島レブナイズ所属選手によるバスケットボール教室や国体ダンス動画撮影などを実施し、多くの市民に対して国体開催の機運醸成を図ることができた。
なお、令和2年に入ってから新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各種事業が中止や延期となっており、今後は国や関係機関から示されるマニュアルに沿った事業の実施が求められる。
- (2) 指定管理者との連携により、市内の社会体育施設の適正な維持管理や備品の更新等に努めながら、施設利用者の増加を図った。なお、スポーツ合宿での利用については、新規の参加団体はあったものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により活動期間の短縮を余儀なくされた団体もあった。
- (3) 全小・中学校で取り組んでいる新体力テストでは、体力合計点の平均値は前年の数値を下回る結果となったことから、体育主任研修会などの機会において「体力・気力アップ始良っ子育成プラン」に掲げた、授業力の向上、運動機会の確保、家庭・地域との連携の3つの基本方針による指導の充実を図る必要がある。
- (4) 道路や住宅事情の変化など児童生徒に関わる環境の変化に対応するためには、学校や関係機関との綿密な連携が不可欠であることから、安全安心な体制の維持のために、今後とも地域の安心の大きな支えとなっている始良っ子見守り隊の体制の充実と、スクールガード・リーダーや通学路安全アドバイザー配置事業の継続に努めたい。
- (5) 7箇所自校方式調理場と加治木学校給食センターは、開設後30年以上が経過しており、施設や設備の老朽化に伴って国の定める「学校給食衛生管理基準」への対応が不十分であることや、食物アレルギーの対応、調理従事者の熱中症対策などの様々な課題を抱えるなど、安全安心な学校給食の提供に対する懸念があることから、新たな施設の整備に向けた検討を進める必要がある。

5 国体推進課

令和元年度においては、前年度まで保健体育課に所属していた国体推進係を国体推進課へ移行し、令和2年10月開催の「かごしま国体・かごしま大会」の成功に向けて、始良市で開催されるバスケットボール、ゴルフ、ライフル射撃競技の大会運営に関する準備作業や競技会場及び練習会場の施設整備に取り組んだ。

また、市民総ぐるみで国体を盛り上げるため、広報紙やホームページなどを活用した広報活動のほか、花いっぱい運動やボランティアスタッフの募集などを行った。

子供たちに国体に関わる機会を創出するため、学校ごとに競技観戦を計画し、日程調整やバス配車等の準備を進めた。また、選手・監督等を激励するため都道府県ごとに手書きの応援メッセージ入りのぼり旗を作成し、リハーサル大会会場に装飾した。

国民体育大会施設基準に基づく競技会場と競技用備品の整備を行うことで、円滑な競技運営に向けて万全の体制を整えることができた。

外部評価委員の10項目評価点は平均 4.3 点

□各事業の主な成果と課題

- (1) 市内9事業者から167万円相当の企業協賛をいただき、国体のPR活動を行った。
また、無償貸与いただいた電気自動車を国体仕様にラッピングし、始良市開催競技のPRにつなげることができた。
- (2) 花いっぱい運動は花苗を前年比3倍増とし、私立を含む幼稚園・保育所へも取組を拡大した。また、福祉事業所と連携し、障害者の雇用促進と社会参加を促進する取組を行うことができた。
- (3) リハーサル大会の実施により、諸準備や競技運営など本大会につながる取組を実践することができた。
- (4) 体育館の照明整備、練習会場の床研磨・塗装及び屋内競技用備品の整備など概ね計画どおりに執行できた。また、総合運動公園体育館の空調整備は前倒しで予算を確保し整備を進めることができた。

Ⅲ 教育委員の点検・評価・意見・要望等について

教育総務課関係

1. 教育委員会の活性化の推進

- ① 定例会・臨時会ともに、適切な時期に計画的に実施された。(同コメント4件)
- ② 事務局より各議案について詳細な説明があり、意見・質問にも的確に答えていただき十分な審議がなされている。(同コメント3件)
- ③ 資料は3日前までに確実に配布され、事前に検討することができた。当日の補足資料も有難い。(同コメント4件)
- ④ 教育委員としての資質向上のために、様々な研修会に参加し、研さんを積むことができた。(同コメント3件)
- ⑤ 県外研修では、他市の特色ある取組を直接見聞きする機会をいただき、多くの刺激を受けるとともに、本市の実態をあらためて見つめ直す良い機会となった。今後も積極的に参加することで、見識を深め教育委員としての資質向上に努め、本市での取組の参考としたい。(同コメント4件)
- ⑥ 学校訪問により直接教員や子どもたちの様子を見ることができ、各校の現状と課題が見えてくる。即対応できることと継続課題等があり、毎年の訪問実施には大きな意味がある。今後も積極的に参加し、課題解決に向けた取組に期待したい。(同コメント4件)

2. 適正な人事管理業務の推進

- ① 職員の資質向上のための研修が良くなされている。(同コメント2件)
- ② 健康診断・ストレスチェックが適切に実施されている。(同コメント2件)
- ③ 予期せぬ新型コロナウイルスの発生で苦慮されたと思うが、即時適切な対応がなされた。今後も感染症予防を徹底して行ってほしい。(同コメント2件)

3. 適正な財務事務の推進

- ① 学校事務職員研修会で実務研修も計画的に実施され、適正な予算執行が図られている。(同コメント2件)
- ② 新型コロナウイルス発生は予期せぬ出来事であり、ファンドの現金化の当初見込額を下回ったことは不可避的だった。

4. 良好な教育環境の整備及び推進

- ① 空調機設置を工期内の9月までに、全ての幼稚園・小・中学校に完了できたことを評価する。
- ② 幼・小・中に空調機が整備され、教育環境が大きく改善された。(同コメント2件)
- ③ 空調のガイドラインも作成され適正に利用されている。
- ④ 施設の老朽化に伴う修繕要望の多い中、限られた予算内で順次改修に当たられている。(同コメント2件)

学校教育課関係

1. 規範意識を養い豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進

- ① モラリティ・インクルーブメント推進事業は今後も大切に継続してほしい。(同コメント2件)
- ② 実践推進校の実践発表や、学校・地域・家庭の三者協働による道德教育は良い取組であり、今後も必要である。
- ③ 目に見える形で「みんなのカレンダー」を各家庭に配付したことは、道德教育を家庭でも考える契機になったと思う。
- ④ 悩みを抱える児童生徒や保護者への各種支援は必要不可欠である。その中において多方面からの支援は命綱でもある。今後もさらなる充実に期待する。
- ⑤ 適応指導教室通室者の、中3生徒全員が高等学校入学を果たされたことを高く評価する。
- ⑥ 不登校は大きな課題であり、多方面から多様な取組がなされている。今後も一人でも多く復帰できるように、支援と努力を続けてほしい。(同コメント3件)
- ⑦ 人権教育、集団宿泊学習、小・中合同音楽会、各種作品コンクール応募、そのどれもが子どもたちの成長の過程において大切な学びの場であり、また大きく刺激を受ける場でもある。今後も続けてほしい。
- ⑧ 集団での活動や人権教育は重要なので、今後も充実した取組を続けてほしい。
- ⑨ 小・中合同音楽会は市内全校が参加しどの学校も工夫した演技を披露している。情操教育にも大いに役立ち、児童生徒、教職員、保護者それぞれがとても良い刺激となっているので、ぜひ続けてほしい。(同コメント2件)
- ⑩ 幼・保・小連携は、小学校への円滑な接続を図るため必須である。スムーズなスタートカリキュラムに繋げるためにも、見直し・充実・発展を期待したい。(同コメント4件)

2. 能力を伸ばし、社会で自立する力をはぐくむ教育の推進

- ① 毎年学校訪問することにより、各学校の学力向上に向けての取組を見ることができる。
- ② 小・中連携の取組として、中学校ブロックごとの共通実践事項の取組により成果が出てきていることは大きく評価できる。今後も継続してほしい。(同コメント2件)
- ③ 各中学校をブロックとした学力向上アクションプラン推進事業が確実に進められている。
- ④ 学力向上、学力定着度について学校間で差があるようだ、共通した取組を検討して欲しい。
- ⑤ 理数・外国語ともに深い学びの場の提供が出来ている。これからを生きる児童生徒への大きな刺激になると思われる。今後もぜひ続けてほしい。
- ⑥ サイエンスリーダー養成講座へ参加した生徒による報告会がとても楽しみである。また、サイエンスあいらんどは、楽しみにしている児童生徒も多く、今後もぜひ続けてほしい。

- ⑦ 小学校外国語活動では、担任とA E Aが協力し、楽しい授業が展開されている。
- ⑧ 小学校での英語授業が充実してきているようだ。
- ⑨ 特別支援教育への対応は年々充実してきている。特別な支援を要する幼児・児童・生徒が増加している中、良質な支援体制を整えるためには、教職員・支援員のスキルアップも大事である。今後も継続的に研修等を進めていただきたい。(同コメント3件)
- ⑩ 教職員・支援員・保護者それぞれが連携をとりながら、より良い支援、保護者に寄り添った支援をお願いしたい。(同コメント2件)
- ⑪ 特別支援学級が増えている。また、特別支援教育支援員の配置も増加しており、しっかりした対応、より良い支援に努めていると感じる。(同コメント2件)
- ⑫ I C Tを活用した授業が多くなっていると感じる、より充実してほしい。
- ⑬ キャリア教育に賛同・理解してくださる事業所の登録数が、昨年より増えたことに感謝します。(同コメント2件)
- ⑭ 職場体験学習を通して、自分の将来の姿を想像するきっかけとなることに期待したい。(同コメント2件)
- ⑮ 職場体験学習は、中学生のキャリア教育に大いに役立っている。今後も受け入れ先の確保など環境整備を進めていただきたい。

3. 児童生徒や保護者、地域社会に信頼される学校づくりの推進

- ① 「郷土を知る」ということが、住んでいるだけでは伝わりにくくなった現代において、学校で学ぶ郷土教育の時間は非常に貴重な時間である。郷土、地域をもっと知り、郷土愛を持ち故郷を誇れる人間に成長してほしい。(同コメント2件)
- ② 学校ごとに郷土素材を工夫して教材化しており、学校と地域の結びつきを深めるとても大切な体験活動なので、今後も取り組んでほしい。(同コメント2件)
- ③ 学校訪問でグランドデザインの細かな説明を校長よりいただき、各校の目指す学校像、児童生徒像が見える。それぞれが志をひとつにして同じ方向を向き、さらに歩みを進めていただきたい。(同コメント3件)
- ④ 各校ともグランドデザインができており目標等もわかりやすいが、関わる全ての教職員が理解し行動できるか、課題もあるように思う。
- ⑤ 学校訪問は、学校の特色や教育活動を実際に見ることで確認できる良い機会である。(同コメント3件)
- ⑥ 学校訪問では、各校の特色や課題が分かるとともに、課題解決策についても話し合わせ、学校の現状に即した教育委員会の的確な指導等ができています。(同コメント2件)
- ⑦ 毎年全学校に、計画訪問・学校訪問ができていいことだと思う。
- ⑧ 小規模校ならではのきめ細やかな対応、そして特色ある活動を紹介する機会を多く持ち、特認校制度をより一層周知していただきたい。(同コメント3件)
- ⑨ 小規模校の持つ良さや特色などが理解され、特認校へ通う児童数が少しずつ増えている。

社会教育課関係

<社会教育関係>

1. 社会教育の基盤づくり

- ① 新たな研究テーマが活発な協議のもと進められることを期待したい。
- ② 本市の抱える問題解決に向けて、社会教育委員との協議が適切に行われている。
(同コメント2件)
- ③ 資質向上のため、全職員が研修に参加し、各課題解決に向けて協議ができていることは評価できる。(同コメント2件)
- ④ 生涯学習における、各世代を牽引されるリーダーの方々が研修会に参加することは大変意義深いことである。これからも積極的な参加奨励をお願いしたい。
- ⑤ 毎年、生涯学習リーダー研修会を実施することにより、計画的にリーダーが養成され、各団体の活性化が図られている。
- ⑥ 社会教育関係団体への適宜適切な指導助言を引き続きお願いしたい。
- ⑦ これからも社会教育関係団体の自主性を尊重しつつ、活動が活性化する支援に努めていただきたい。
- ⑧ 生涯学習情報の広報や実施報告等、どの世代も接しやすい形になることを希望する。
- ⑨ 「Aira View」では、社会教育関連の広報をよく見る。

2. 青少年教育の充実

- ① 複数の青少年育成事業が計画されており、また参加者も多く大変評価できる。今後も続けていただきたい。
- ② 毎年恒例のあいら未来特使団事業は、リーダー養成を行う楽しみな事業である。今後もより多くの参加を募り継続してほしい。(同コメント2件)
- ③ あいら未来特使団事業で、参加者全員が初めて富士山登頂ができてとても良かった。
- ④ 成人式では、初めての外国籍の成人の方々の参加もあり、とてもにぎやかで花を添え良かった。
- ⑤ 子ども会加入率が、5割を割ってもなお年々低下してきていることを危惧する。地域の子ども会が存在する意味を、今一度全保護者に伝える場があると良い。(同コメント2件)
- ⑥ 子ども会加入率の課題はあるが、それぞれの子ども会では自主的に活動している。
- ⑦ ジュニア・リーダークラブの活動を、もっと市民に認知してもらう方法を講じてほしい。(同コメント2件)

3. 家庭教育・成人教育の充実

- ① 家庭教育学級は子育て中の保護者にとって大切な学びの場である。全員参加になるとさらに良い。
- ② 「地域で育む家庭教育推進学級」は国・県委託事業として適正に行われた。(同コメント2件)

- ③ 家庭教育推進事業では、ラジオ番組の作成、子育て手帳を配布など、積極的な活動がなされた。
- ④ あやめ学級、ゆずり葉学級の両学級とも大切な生涯学習の場である。多くの方に参加していただきたい。
- ⑤ 自治公民館毎に高齢者の集いはあるが、ゆずり葉学級では、これからも現代的課題が学習できる内容を取り入れてほしい。
- ⑥ 人権学習は継続して学ぶことが大切である。学ばなければ見えない事柄が多くあることを伝える場でもある。
- ⑦ 各学級の学習で、必ず人権教育を取り入れている。これからも継続していただきたい。

4. 社会教育施設の充実と利用促進

- ① 北山野外研修センターは、昨年とほぼ同程度の利用者数があった。今後も利用奨励に努めていただきたい。(同コメント2件)
- ② 北山野外研修センターは、団体の活用促進はもちろんだが、家族単位での利用が気軽に行えるようになればと思う。
- ③ スターランドAIRAは、年間の入館者数が昨年より増えている。工作教室等人気のようである。PR効果が出ている。
- ④ スターランドAIRAの運営は、適切に行われている。
- ⑤ スターランドAIRAは、季節ごとにパンフレットを更新して、PRに努めている。
- ⑥ 椋鳩十文学記念館は、毎年の課題ではあるが来館者増対策が必要である。(同コメント2件)
- ⑦ 椋鳩十文学記念館の運営は適切に行われているが、利用者への更なる周知をお願いしたい。
- ⑧ 椋鳩十文学記念館の読書感想文コンクールに、全国から応募があることはとてもうれしいことである。県内の利用者が増えてほしい。
- ⑨ 蒲生ふるさと交流館の利用者は、昨年並みを維持している。今後も様々な催事を企画し、地区の生涯学習推進に貢献してほしい。
- ⑩ 陶夢ランドは、文化・スポーツ体験型施設として利用者も多い。施設の老朽化は気になる所であるが、今後もPRに努め利用者を増やしてほしい。

<生涯学習関係>

1. 生涯学習の推進

- ① 生涯学習フェアには、毎年多くの聴講者がある。
- ② 毎年、生涯学習フェアの講師やプログラム内容を工夫している。
- ③ 生涯学習フェアの講師は、テレビでもよく見かける森永氏ということで多くの市民が参加していた。

2. 芸術文化活動の振興

- ① 芸術に触れる機会は大変貴重である。これからも続けてほしい。(同コメント2件)
- ② 市立少年少女合唱団の定期演奏会での、初のミュージカルにとっても感動した。子どもたちの芸術性も向上している。

- ③ 青少年劇場・芸術鑑賞事業は、小・中学生に本物の芸術を間近に見て感じることができる素晴らしい機会である。今後も芸術性の高いものを提供していただきたい。
- ④ 文化祭は、加治木・始良・蒲生の各地区と市の4回開催され、それぞれ盛況の様である。各地区の交流も図られており、今後の発展が楽しみである。(同コメント2件)

3. 公民館施設の充実

- ① 各地域の住民にとって必要な施設である。補修や修繕を行っていただき有難い。
- ② 施設環境の整備は、適切に行われている。
- ③ 今後とも、計画的に整備されたい。

4. 公民館事業の充実

- ① 関係機関との協力は、適切に行われている。
- ② 公民館運営審議会で出された意見を、これからの事業に活かしていただきたい。
- ③ 職員を積極的に研修会に参加させ、資質の向上を図り、市民サービスに貢献している。(同コメント3件)
- ④ 生涯学習講座は、市民から要望のあった講座を積極的に取り入れようと計画されていることを評価する。受講者も昨年より増加している。
- ⑤ 生涯学習講座は、適切に行われている。
- ⑥ 本市では多くの講座が開設され、市民の学習意欲に応えていると思う。
- ⑦ 各公民館年間利用者数に増減はあるものの、地区民には必要な施設である。
- ⑧ 公民館利用の拡充は、適切に行われている。
- ⑨ 25万人以上の方が公民館を利用している。これからも市民のために窓口サービスを充実していただきたい。

<文化財関係>

1. 指定文化財登録文化財の保存・活用

- ① 審議会において、始良市に残る史跡の調査・検討を行い、文化財の指定と適正な保護と補修等が行われている。
- ② 文化財の管理・保存・整備に係る多くの事業を成したことは、始良市にとってとても大きなことだと考える。今後も文化財の保存・活用に努めていただきたい。
- ③ 文化財ガイドブックは、大変見やすく手に取りやすい大きさである。
- ④ これまでの文化財ガイドブックも学校での教材として活用されている。今後も有効活用できるよう取り組んでいただきたい。
- ⑤ 文化財ガイドブックは、市民にも子どもにも分かりやすい工夫がなされており、親しみやすい。
- ⑥ 始良市で育つ子どもたちが、総合的な学習で、郷土の歴史の深さと素晴らしさを学ぶ機会は大変貴重である。

2. 埋蔵文化財の保存・活用

- ① 前田遺跡発掘調査により、住吉地区の歴史の一端が確認されたことは評価できる。
- ② 前田遺跡の見学をさせていただき、とても感銘を受けた。遺跡の見学等について

学校や市民にも周知してほしい。

- ③ 発掘調査に確実に取り組んでいる。前田遺跡については、今後の追加事業が興味深い。

3. 郷土芸能の保存・育成

- ① 無形民俗文化財の太鼓踊りは、後世に伝えていかなければならない大切な市の財産である。後継者育成が喫緊の課題である。
- ② 後継者育成と保存会活動支援を適正に行っている。
- ③ 郷土芸能の保存と観光的な紹介が両立するような取組が必要である。

4. 施設の充実

- ① 歴史民俗資料館での島津義弘公特別展が好評で、来館者数も伸びている。資料館を活用する学校も昨年より増加しており、子どもたちの資料館認知度も増していると思われる。
- ② 歴史民俗資料館で、企画展・特別展をすることにより、市民の入館者は増えるのではないかと。資料館を利用する学校数が増加していることは喜ばしい。
- ③ 歴史民俗資料館はとても価値ある施設なので、市民の皆様にもっと知ってほしい。
- ④ 歴史民俗資料館は、できれば市内全小学校に利用してほしい。
- ⑤ 加治木郷土館は、テーマ展示により入館者が増加している。今後も貴重な資料の適切な保管と適時な展示公開をお願いしたい。
- ⑥ 吉原事務所においては、収蔵庫のスペースが無い中での前田遺跡出土品整理作業と他遺跡出土品の再整理の並行作業は大変なことと思うが、大変貴重な史料となるので引き続き頑張ってください。

図書館事務局関係

1. 図書館のサービス業務と読書活動の充実

- ① 祝日開館を喜ばれる市民の声を聞いている。今後も市民目線の図書館(室)であってほしい。
- ② 今年度の図書館行事は、コロナ感染症により中止にせざるを得なかったものも多いので、来年度は講演会や各種講座等は心待ちにしている利用者のためにぜひとも機会をつくってほしい。(同コメント2件)
- ③ 利用者のマナーも良く、土・日には学生もよく見かける。いつも落ち着いた雰囲気の中、整然と業務が行われている。市広報誌でも定期的にPRを行っている。
- ④ 「ものがたりレシピをいただきます」は絵本の読み聞かせと、その後の給食の献立に絵本に出てきた料理が出されるという事で、子どもたちには好評であった。
- ⑤ 各ボランティアの方々が縁の下の力持ちとなって、図書館運営の大きな要として活動してくださっており、大変感謝している。(同コメント2件)
- ⑥ 機材とライブラリーの利用方法の周知を積極的に行っていただきたい。
- ⑦ 学校以外にも利用促進の周知をお願いします。

2. 始良市図書館ネットワークの充実

- ① 時代に即したサービスが提供されている。益々の周知を図ってほしい。
- ② 利用者へのサービスの周知を図り、登録の増加を期待しています。

保健体育課関係

<スポーツ振興関係>

1. 生涯スポーツの推進

- ① 新型コロナウイルス感染症が心配されるが、これからも市民の健康増進や親睦を深める機会を、対策を講じつつ持つことができればと思う。
- ② スポーツフェスタでプロ選手のバスケットボール教室など子どもたちに夢を持たせられたのではないかと思う。
- ③ いろいろなスポーツ大会が開催され、多くの市民が参加していることが喜ばしい。
- ④ スポーツ推進委員が生涯スポーツの充実に大きな役割を担っている。今後も研修会などで資質の向上を図っていただきたい。

2. 競技スポーツ、スポーツ環境整備の推進

- ① 新型コロナウイルス感染症のため期間が短縮されたが、県外からのスポーツ合宿初の大学が2校あり地域活性化に繋がっている。
- ② スポーツ少年団の団体数と団員数の減少が見られ気にかかるところであるが、安全に活動を行うためにも、指導者・保護者それぞれの立場における研修会には積極的に参加していただきたい。
- ③ 子どもの運動力の二極化についての取組に期待している。
- ④ スポーツ合宿の誘致については難しいことも多いと思うが、今後も積極的に取り組んでほしい。

<学校体育保健関係>

1. 体力・運動能力の向上

- ① 子どもたちの体力不足は「遊びの質の変化」も要因の一つと考えられる。だからこそ学校における体育・運動の時間の大切さが伺える。各学校新体力テストの結果からそれぞれ対応策に取り組まれている。
- ② 学校訪問でも説明を受けているとおり、各学校それぞれ努力している。
- ③ 各記録会では、良い記録が出ており頑張っていることが伺えるが、体力テストでは県の平均値を下まわる種目も見られる。今後の取組に期待したい。
- ④ 学校それぞれの取組がある、成果に期待したい。
- ⑤ 学校訪問でも「体力アップ！チャレンジかごしま」の取組状況の説明を受けている。3年連続の学校賞もあり素晴らしい。(同コメント3件)

2. 健康教育の充実

- ① アレルギー疾患は、場合によっては命に関わるものでもあるので、引き続ききめ細やかな対応をお願いしたい。
- ② 市教委作成の「アレルギー症対応の手引き」があることで、市立学校全体の共通理解ができているのが良い。
- ③ 就学時検診や健康診断は適切に実施され、指摘があった子どもの保護者へも的確に指導がなされている。
- ④ 「始良っ子見守り隊」をはじめ、多くの方々の毎日の見守りに大変感謝している。今後も学校との連携がさらに深まってほしい。(同コメント2件)
- ⑤ 見守り隊に617名の方が登録されており、誠にありがたい。朝・夕見かけるが、

今後も子どもたちの事故防止にご協力いただきたい。

<学校給食関係>

1. 食育の推進

- ① 食育の推進の方策として、調理員のスキルアップ研修や食に関する指導・食育講演会等行っており評価する。
- ② 食育に関して各学校でも工夫している。
- ③ 栄養教諭と連携した食に関する指導が更に充実してほしい。
- ④ 栄養教諭との連携により、バランスのとれた献立の作成や地場産物の活用等出来ており、子どもたちのための大切な一食となっている。
- ⑤ 関係者の徹底した衛生管理によって、食中毒関連の事案が発生しなかったことは高く評価する。
- ⑥ 食物アレルギーについて、各学校で統一した取組がなされている。学校給食の献立作成にも工夫がなされている。(同コメント2件)
- ⑦ 安心・安全な学校給食のため、調理従事者の資質向上と健康管理は欠かせない。
- ⑧ 調理機器の保守点検・計画的な更新については、今後とも徹底して取り組んでいただきたい。

国体推進課関係

1. 国民体育大会、全国障害者スポーツ大会の実施

- ① 国体に向けて9事業者より企業協賛をいただき、誠にありがたい。大きな期待を感じる。(同コメント2件)
- ② 各専門委員会の取組が適切になされていた。
- ③ 国体周知のためのグッズ、イベント、のぼり旗など広報媒体をいろんなところで目にして、市民の意識も高揚しつつあると感じた。(同コメント3件)
- ④ 「市民総ぐるみで」のことばの下、各所から参加をいただき国体への盛り上がりの機運となった。
- ⑤ 花いっぱい運動では、学校などでの取組で盛り上がっていた。
- ⑥ リハーサルを行うことによって指摘をいただき、改善点が見えたことは大きな収穫である。今後に向けてさらに調整をお願いしたい。
- ⑦ リハーサル大会でのおもてなし、ボランティアや係員の接客は、丁寧でとても良かった。
- ⑧ ライフル射撃競技は、多くの来場者があったがスムーズに運営されていた。
- ⑨ ライフル射撃競技は、スクリーンなどで見学できる場所を作ってもいいのではないかと思う。
- ⑩ 2つの競技とも新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったが参加応募者数も多く、関心を寄せてくださっていることが伺える。(同コメント2件)
- ⑪ 国体期間中は人や車両の往来も非常に多くなると予想される。大会期間中事故無く進めるためにも、シミュレーションも含めた入念な計画が肝要である。
- ⑫ 小中学生が走者の炬火リレーである。入念な計画のもと安全第一をお願いしたい。
- ⑬ LED照明や練習会場床研磨塗装は計画どおりに整備された。照明は思った以上に明るかった。

IV 外部評価委員の点検・評価・意見・要望等について

教育総務課関係

1. 教育委員会の活性化の推進

- ① 定期的な会と課題に応じた会議が効果的に実施されている。
- ② 定例会及び臨時会ともに計画的に適切な時期に行われている。(同コメント3件)
- ③ 各委員から活発な質問や意見が出され十分に審議されている。(同コメント3件)
- ④ 会議における議論が十分に行うことができるよう、準備がよくなされている。
- ⑤ 3日前までの資料配布は外部評価委員にも早目に届けていただき、目を通せるので有り難い。
- ⑥ 会議資料は、3日前までに配付され事前検討できている。事務局と教育委員との連携もしっかり図られている。(同コメント2件)
- ⑦ 事前準備を含め、事務局の的確な対応が大変よく評価できる。
- ⑧ 市の課題に応じた視察地の決定をこれからも行ってほしい。
- ⑨ 県外研修や県・地区主催の研修会に積極的に参加し、見識を深めるとともに訪問先や参加者同士の交流も図られている。学んだことを本市の教育に生かしてほしい。(同コメント3件)
- ⑩ 学校にとって学校訪問は、外部の意見を聞き学校改善の良い機会となる。実態を把握し改善に努めてほしい。
- ⑪ 教育委員が積極的に学校訪問や各種行事に参加され実情を把握し意見交換や課題解決に向けての指摘がなされている。
- ⑫ 学校訪問では、授業参観、学校経営の説明、その後の意見交換や質疑を通して、学力・体力の状況や課題等の把握がなされている。
- ⑬ 学校を直接視察され、現状や課題を把握された上でその解決等に尽力されていることがわかる。

2. 適正な人事管理業務の推進

- ① コロナ感染症に伴う学校休業での職員の勤務については、全学校である程度統一した方がいいと思う。
- ② 計画的に各種研修が取り組まれ職員の資質向上が図られている。今回は用務員研修で刈払機講習会が開催され学校環境の改善に役立つのではと高く評価する。
- ③ 職員の健康管理、ストレスチェック等しっかり実施されている。今後も継続し管理チェックに努めてほしい。
- ④ 職員の資質向上に向けた各種研修会が、適切に行われている。コロナウイルス感染予防としての「新しい生活様式の徹底」を図ってほしい。
- ⑤ 多くの職種を対象として計画的な研修が行われている。今後、新型コロナウイルス感染症への対応が多方面に必要なことから、相互の連携を重視したサポートが望まれる。

3. 適正な財務事務の推進

- ① 予算執行については、事務職のいない学校での担当の研修を何回かもってほしい。
- ② 事務職員の研修会が計画的に行われ、適正な予算執行が図られるとともに担当者

の実務能力向上が期待できる。(同コメント2件)

4. 良好な教育環境の整備及び推進

- ① 校区の小学校の行事が行われたり、特認校指定が始まったりして校区民としては有り難い。校区コミュニティも引き続き協力していきたいという思いである。
- ② 教育施設における改善が必要な部分においても計画的に改修されている。
- ③ 9月までに始良市立の全ての幼稚園、小・中学校に空調機の設置が完了したことは素晴らしい。(同コメント2件)
- ④ 夏場の熱中症対策として、全ての学校に空調施設が整備できたことは大変評価できる。今後は環境教育やエネルギー教育などの観点も併せて考えていけるようお願いしたい。

学校教育課関係

1. 規範意識を養い豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進

<豊かな情操・感性を育てる道德教育の充実>

- ① 始良市では道德教育に力を入れ、情操教育を大切にされている。
- ② 保護者や市民の道德性向上を目的とする事業を検討してほしい。(同コメント2件)
- ③ 市独自のモラリティ・インクルーブメント事業により、豊かな情操・感性をもつ子どもたちが育っている。今後も学校・地域・家庭が共同して子どもの道德性を育むために地道な取組を継続していただきたい。(同コメント2件)
- ④ 毎年開催される実践推進校の実践・授業公開は、子どもの道德性を育むための学校・家庭・地域の役割について考える機会となっている。

<児童生徒の心に届く生徒指導の充実>

- ① スクールカウンセラーとの連携がしっかりとられており、不登校児等が減少していることは、効果的だと思う。
- ② 悩みを抱える児童生徒や保護者にとって、相談できるカウンセラーやソーシャルワーカーの存在は大きい。今後も配置回数を増やし継続支援してほしい
- ③ 不登校問題についても、学校・家庭・適応指導教室側と密に連絡を取り、対応と支援を図ってもらいたい。
- ④ 不登校問題について多方面から様々な取組がなされている。その中で、適応教室通室の中3生徒全員が高校進学できたことは素晴らしいことである。
- ⑤ 不登校等の問題については、児童生徒のみの問題だけでなく、家庭的背景、取り巻く環境などが様々な形として現れているのだと思われる。今後もSCやSSWと学校が協同して困っている一人一人の支援ができるようお願いしたい。
- ⑥ 様々な相談に対して、寄り添えるように努力されており、事業は十分に行われているように感じる。ただし、声を出した人ではなく、悩みを抱えている人が声を出せる環境を作る努力を続けてほしい。

＜人権教育及び体験活動や読書活動の充実＞

- ① 外国で人種差別が問題になっているが、日本の中学生がヨーロッパで差別されたことを新聞に投稿していた。将来外国で活躍する人も出てくると思うので、人種差別についても触れてほしい。
- ② 小・中合同音楽発表会は、発表する児童生徒も保護者も共に楽しみにしている。各学校が工夫を凝らし、素晴らしい発表と協調性を学べる場になっているので、継続してほしい。
- ③ 集団での活動や人権教育は、子どもたちの成長過程において大切な学びの場となっているので今後も継続してほしい。
- ④ 他人の立場になって考えることの重要性を、小・中学校段階で身につけることは将来の生き方に大きく影響すると思われる。より良い社会の一員となれるよう、これらの取組を継続していただきたい。
- ⑤ 様々な活動を通じて計画的に事業が行われている。希望者多数の場合、抽選になってしまうことがあるので、どうにか希望者全員が参加できる体制づくりを検討し続けてほしい。

＜幼児教育の充実＞

- ① 幼・保・小の連携は、各種研修会を通して図られている。今後もより一層充実したものにし円滑な接続に努めていただきたい。(同コメント3件)
- ② 連携事業において、放課後等デイサービス事業者や児童クラブ、ファミリーサポートセンターなどの、園児・児童の生活支援等団体との連携も図ることを検討してほしい。

2. 能力を伸ばし、社会で自立する力をはぐくむ教育の推進

＜「確かな学力」の定着＞

- ① 英語教育にも力を入れている始良市だが、全国学力・学習状況調査で英語が全国平均を下回っているとのこと。どの程度下回っているのか気になるところである。
- ② 学力検査・分析は学校だよりも載せられ、各学校でよく対策がとられている。
- ③ 指導力向上セミナーや教育講演会に、たくさんの教員の参加があったことは評価できる。
- ④ 小・中合同の研修会も実施され情報交換や相互授業参観など小・中の共通実践事項の推進、連携が図られている。(同コメント2件)
- ⑤ 中学校ブロックごとの小・中合同研修会や指導力向上セミナー等の取組が確かな学力の向上につながっていると評価できる。今後は特に取組の良かった学校の情報を積極的に共有し、さらなる学力向上に努めていただきたい。
- ⑥ 学力向上に向けた取組が行われている。また、働き方改革と並行して行われている中で、結果を残していることはとても大きな成果である。

＜理数・外国語教育の充実＞

- ① 「サイエンスあいらんど」は、市教職員による20ブースの実験教室が人気で、

親子で楽しんでいる姿が印象的である。

- ② 理数・外国語教育推進事業では、理数定着支援員3名を小学校4校に配置、英語活動協力員を市内の全ての小学校に派遣し指導の充実を図っている。児童生徒にとって必要な支援だと思うので継続してほしい。(同コメント2件)
- ③ 今後ますますグローバル化が進み、理数や外国語などの知識や能力が共通のツールとして必要とされるようになっていくと思われる。その意味で市教委の取組は大いに評価できる。
- ④ 様々な取組がなされているので、継続してほしい。
- ⑤ 学校備品パソコンは1人1台の保有とのこと。コロナ感染症による休校の際パソコンでの授業も可能になるので良い体制だと思う。

＜特別支援教育や情報教育の充実の推進＞

- ① 支援を要する児童生徒の状況をしっかり把握し、担任と支援員の連携を密に保護者との連絡も欠かさず、個に応じた支援に努めてほしい。(同コメント2件)
- ② 小・中学校に54名の支援員が配置され、担任との連携による児童生徒の安全確保や学習支援が、きめ細かに行われていることに感謝したい。(同コメント2件)
- ③ 特別な支援を必要とする児童生徒への厚い対応は大変評価できる。それぞれの児童生徒が持つ能力を最大限発揮してもらいたい。また、それぞれの支援は、全ての児童生徒へも必ずフィードバックできるものであることを共通理解し、実践していくことも重要である。
- ④ 支援を要する児童生徒が増加していることを考えると、校区内にある養護学校との連携と現状を把握することも必要ではないかと思う。

＜進路指導・キャリア教育の充実＞

- ① コロナ感染下での失業率はもっと増加するものと考えられる。将来どのような職に就くかを考えるキャリア教育はとても大切なことなので、より力をいれてほしい。
- ② 始良キャリアサポートバンクへの協力企業が毎年増えており、子どもたちの職場体験学習や職場見学に向けた環境整備が図られていることに感謝したい。(同コメント2件)
- ③ 小・中学校の段階から働くことの意味や生き方について考えることは大変重要である。様々なキャリア教育推進事業のさらなる充実、地元の企業等への呼びかけを継続してほしい。(同コメント2件)

3. 児童生徒や保護者、地域社会に信頼される学校づくりの推進

＜体験活動や郷土教育の充実＞

- ① 学校と地域との連携をより密に行い、郷土の良さを伝えていきたい。
- ② 地域で特色ある教育活動が展開され、児童生徒がいきいきと体験しているのがうかがえる。今後も継続し地域に根付く活動になればと思う。

- ③ 総合的な学習時間での体験学習は、ふるさとの良さを知る場となっており、今後も学年に応じた取組を継続してほしい。
- ④ 自分たちのふるさとに誇りを持ち、素晴らしい先人の活躍等を知ること、将来、自分が果たす役割を身につけていけるのではないかと思う。

<魅力ある学校づくりの推進>

- ① 学校評議員会・学校関係者評価委員会の参加を通して、学校の経営方針や具体的な取組を把握することができた。
- ② それぞれの学校が独自の特色をグランドデザインとして地域に周知し、その信頼を得ていけるよう努力している。最終的に子どもに還元されるよう頑張っている。(同コメント2件)

<学校運営の充実及び教職員の資質向上>

- ① 校長・教頭研修会も実施され管理職としての資質向上や意見交換交流が図られている。(同コメント2件)
- ② 計画的な校長・教頭研修会で管理職の資質向上が図られている。また、学校訪問により現状把握や指導助言がなされ、よりよい学校経営につながっている。(同コメント2件)
- ③ 学校訪問は年1回実施されているが、学校の現状を知り適切な意見と指導がなされている。
- ④ 例年どおり、計画的に活動されている。

<小規模校のよさを生かした特色ある教育活動>

- ① 西浦小が特認校としてスタートしたことは、学校存続に向けて有り難いことである。西浦の良さを発信に協力したい。
- ② 小規模校の特色ある活動と、一人一人にきめ細かい指導と対応をしていると評価できる。
- ③ 特認校制度を取り入れた小規模校が5校あるので、市民に知ってもらうための周知を今後も続けてほしい。
- ④ 小規模校の良さや特色ある活動等を市の広報紙や研究公開などを活用して紹介しており、特認校への通学児童が増えつつある。(同コメント2件)
- ⑤ 小規模校のよさを生かしながら特色ある教育活動を推進するという難しい取組を行っていることは理解できているが、各学校の特色をもう一度明確にしなければならぬように感じる。小規模校の中でもそれぞれの特色が分かるようにPR活動を行ってほしい。

社会教育課関係

<社会教育関係>

1. 社会教育の基盤づくり

- ① 研究テーマを基に、社会教育委員の会で、家庭教育支援に対して活発に議論されている。
- ② 委員からの様々な意見を「研究のまとめ」として作成し、家庭教育支援の各事業に反映させている。
- ③ 地域や社会全体で学校教育を支えていくためにも、基本となる家庭への支援が重要である。新たな研究テーマの下、これからの活動に期待したい。
- ④ 始良市の社会教育の基軸となる会がしっかり機能していると感じる
- ⑤ 職員や指導員が計画的に各種研修会等に参加し、課題の把握とその解決に向けた協議がなされ、より実践力の高い業務につながることを期待できる。(同コメント3件)
- ⑥ 社会教育の各種リーダー・指導者研修会が開催され62人が参加し育成が図られている。研修が生かされることを期待したい。(同コメント2件)
- ⑦ 例年どおりの活動が行えているようであるが、始良市におけるリーダー像を伝えられるようにしてほしい。
- ⑧ 社会教育の各種関係団体の活動状況を把握し連携をとりながら適切な育成支援を図っていると評価できる。
- ⑨ 多くの社会教育団体があり、その活動状況もそれぞれに違いがある中での指導助言は難しい面もあるが、地道な取組をお願いしたい。
- ⑩ 市P連との連携は例年どおりできていた。他団体との連携は不明であり、比較評価ができなかった。
- ⑪ 市報あいらで生涯学習情報の内容を拝見したことがある。今後も市民にわかりやすい内容で見やすい情報発信をお願いしたい。(同コメント2件)
- ⑫ いつでも読める市報と即時性のあるHPでのそれぞれの特色を生かし、これからも情報発信に努めていただきたい。
- ⑬ 市報あいらの内容は素晴らしいものがある。読んでいただけると勉強になることが多いと思う。ただし、若年層を含めて読まない方が増えてきており、今後のツールを考える必要があると思う。

2. 青少年教育の充実

- ① あいら未来特使団事業で、富士登山登頂を全員達成したことは参加者の将来の自信につながる良い試みである。(同コメント2件)
- ② 多くの小・中・高生がチャレンジできる事業は、子どもたちにとって魅力があり、次世代を担う人材育成ができる場であるので継続してほしい。
- ③ 成人式への外国籍の成人の参加、これからも続けてほしい。
- ④ 外国人や障害者の立場を配慮して、成人式を実施していただいたことを評価したい。今後も多様な立場の方々への配慮と対応をお願いします。

- ⑤ 各種青少年育成事業は、大変素晴らしい企画・運営がなされており、参加者も多い。
- ⑥ 小・中・高それぞれに多くの体験活動ができる事業があり素晴らしいと思う。それぞれについて不断の見直しを行い、より充実できるようお願いしたい。
- ⑦ どの青少年活動も目的や成果がしっかりと示されており、また結果も十分に出せている。
- ⑧ 組織的な子ども会の活動は、人数的に困難で大人が主体で行っている状態である。
- ⑨ 始良市は人口も増え子どもたちも増えていると思われるが、子ども会の現状（活動内容）を知らない保護者も多い。広報を通じて子ども会の活動内容を発信できないか。
- ⑩ 年々保護者の考え方にも変化がみられ、子ども会への参加も減少傾向である。やはり、多少の負担があってもメリットが大きいことを理解してもらうことが必要である。
- ⑪ 子ども会の加入率が過半数を割っており、制度の見直し時期にきているのではないだろうか。今後も子ども会を基盤とした青少年育成活動を行うのであれば、加入率向上のために対策を行う必要があるのではないだろうか。新たな制度の構築を検討してもいいと思う。（同コメント2件）
- ⑫ ジュニアリーダークラブの活動を市民に認知してもらうことはもちろん必要だが、市内の中高生にも活動を周知してほしい。（同コメント2件）

3. 家庭教育・成人教育の充実

- ① 「子育て手帳」は、初めて親になる人にも必ず手にできるようにしてほしい。
- ② 各家庭教育学級で工夫された学習活動を展開されていることをうれしく思います。さらに学級生が増え、学びを通して保護者たちの交流が図られるよう支援と対応をお願いします。
- ③ 県の委託事業を通じ、地域全体で家庭教育を支えていく取組が進められており評価できる。
- ④ 成果がしっかり出ており、活動としては充分であった。しかしながら、委託事業の外れる令和2年度以降も継続して実施していくための計画が立てられたのかが不明である。
- ⑤ あやめ学級・ゆずりは学級が開設され、市民にとって生涯学習ができる場があることは素晴らしいと思います。生きがいつくり仲間づくりができるよう配慮して支援をお願いします。
- ⑥ 女性学級・高齢者学級それぞれに生きがいと仲間づくりが重要視されている。多くの参加があるようPRに努めていただきたい。
- ⑦ 例年どおりの活動であったと思う。女性や高齢者という枠組みだけでなく、生涯学習の場となるような構築をしてもらいたい。
- ⑧ 現代において様々なことが人権にかかわります。社会教育にかかわる事業の中で人権教育を設定し、たくさんの方々に学習できる機会を作ってもらいたい。
- ⑨ 社会全体で正しい人権の認識ができるようにするためにも、地道な取組をお願いしたい。
- ⑩ 学習の場を作る努力がなされており評価できるが、令和元年度までに何人の市民が人権教育の機会に触れることができたのか（これまでの延べ人数ではなく、実

際にこれまで約何名の市民が受講したことがあるのか) が不明である。

4. 社会教育施設の充実と利用促進

- ① 竹水鉄砲大会の際に訪れたが、展示物等充実している。
- ② 北山野外研修センターは、年間利用者は多いと思うが、夏場以外にも多く利用してもらえるような工夫と周知の検討をお願いしたい。
- ③ 今後、各施設において新型コロナウイルス感染症への対応のため、施設の運営等難しい面も出てくると思われるが、それぞれの特色をしっかりとPRし、息の長い利用者増につなげてほしい。
- ④ 北山野外研修センターは、施設の活用目的が不明確であり、また他の施設との連携が図られていないように感じられる。あるから使うだけになっているので、関係機関との連携を図る必要があるのではないだろうか。
- ⑤ スターランドAIRAの館長の上田館長の名前を天声人語で見かけた。PR効果大である、季節ごとのパンフレットもあるとか。いつか訪れたい。
- ⑥ スターランドAIRAは年間入館者数が昨年よりも増えていることは評価できる。イベントにも出展しPR効果も出てきているので継続して周知してほしい。
- ⑦ スターランドAIRAは来館者やリピーターが増加傾向にある。パンフレット等でのPRを今後も継続してほしい。
- ⑧ スターランドAIRAはイベントの開催情報などの発信を、あらゆる手段を使って行っていく必要があると思う。
- ⑨ 各学校に椋鳩十の作品は置かれている。五年国語の「大造じいさんとガン」の学習のとき、他の作品も紹介していた。遠足などで訪問したらどうだろうか。
- ⑩ 椋鳩十文学記念館は年間入館者数が減少しているのが課題であり、来館してもらうための手立てが必要かと思う。始良市にある施設のスタンプラリー等を企画してみてもどうか。
- ⑪ 椋鳩十文学記念館は入りづらい印象があり、外観的・内容的にも抜本的な対策が必要だと思う。ふれあい教室との連携を図るなど、いまできる活用方法を探してほしい。
- ⑫ 蒲生ふるさと交流館では、昨年はおもう超短期大学という独創的なアイデアで地元に着したイベントを企画したくさんの方々が参加されていたと聞いている。
- ⑬ 蒲生ふるさと交流館は、Lab蒲生郷のアイデアにより、充実した活動が行えていると思う。施設の更新について、蒲生支所庁舎建設も視野に入れながら検討をしてほしかった。
- ⑭ 陶夢ランドは年間利用者も多いので、施設の老朽化による修繕を計画的に進めてほしい。
- ⑮ 陶夢ランドは施設の柔軟な利用ができるように検討し、利用率が高くなるように努力してほしい。

<生涯学習関係>

1. 生涯学習の推進

- ① 生涯学習フェアの講師、森永卓郎さんの講演に多くの市民が参加し好評だった。
- ② 著名な講師を招聘し多くの市民の参加があった。今後のフェアにも期待したい。

- ③ 生涯学習の推進のため計画が立てられ、フェアも充実した内容であった。しかしながら、年1回の開催であると参加できない人もいるので、今後は他のツールでの参加を検討してほしい。

2. 芸術文化活動の振興

- ① 小学生を対象にした青少年劇場は、計画的に実施してほしい。
- ② 小・中学生に演劇や演奏会など本物の芸術に触れる体験はとても貴重なことで、計画どおりに提供できたことは評価できる。(同コメント4件)
- ③ 文化協会各支部文化祭も始良市文化芸術祭も多くの市民が参加している。市文化協会との連携を密に各支部への支援を継続してほしい。
- ④ 文化協会各支部文化祭において、各支部独自で取り組む体制が整ってきたことは喜ばしいことである。
- ⑤ 多くの市民が芸術の素晴らしさに触れる機会を得ていることは評価できる。今後も継続していくための計画が必要である。(同コメント2件)

3. 公民館施設の充実

- ① 校区公民館の修繕については、日頃の地域住民の助言により、維持管理がしっかりできた。
- ② 公民館を利用する市民も多く維持管理は大変だと思う。利用者のために早い修繕がなされたことは評価できる。
- ③ 公民館は市民が集う重要な施設であり、今後も計画的に整備を行っていただきたい。
- ④ 公民館施設は、老朽化が進んでいること、設備備品の更新等が少ないことなど、課題が多い。

4. 公民館事業の充実

- ① 公民館運営については適切に行われている。
- ② 生涯教育推進のための公民館としての役割を再検討する必要がある。
- ③ 公民館指導員研修会等の機会を捉え、適切に課題・情報の共有がなされている。(同コメント2件)
- ④ 公民館関係職員及び公民館関係指導員については、研修等への参加がなされているが、力が発揮できていないようにも思える。
- ⑤ 人的配置や備品等の設置なども加えながら、専門性を生かしてもらいたい
- ⑥ 利用者の声や要望を取り入れた講座を開設し受講者が増えていることは評価できる。(同コメント2件)
- ⑦ 年間の反省を生かし、より魅力的な講座が開設できるようお願いしたい。
- ⑧ 公民館は、市民になくってはならない学びの施設なので、きめ細やかなサービスの提供、今後も継続して利用できる体制作りをお願いしたい。(同コメント2件)
- ⑨ 今後、新型コロナウイルス感染症への対応のため、施設の運営等難しい面も出てくると思われるが、それぞれの特色をしっかりとPRし、息の長い利用者増につなげてほしい。

＜文化財関係＞

1. 指定文化財登録文化財の保存・活用

- ① 文化財保護審議会等で指定文化財の調査や検討を行い、新たに未指定文化財の掘り起こしを行い、指定できたことは評価できる。
- ② 先人が大切に守り伝えてきた文化財の価値をさらに多くの市民に伝えるとともに、日本遺産に指定された蒲生麓の積極的なPRに努めてほしい。
- ③ 文化財の管理・保存・整備については、これまでの継続事業や新規事業などしっかりと取り組まれている。
- ④ 各事業を市民に理解してもらえるように、分かりやすく伝えられるようになると思う。
- ⑤ 山田の凱旋門に行ったとき、歴史ボランティアの方が詳しい説明をしてくれ有り難かった。市報等でも歴史ボランティアの存在について紹介してもらえたらと思う。
- ⑥ 文化財ガイドブックの新規制作と、小・中学校で総合的な学習や出前講座など、支援や対応を学校と連携できることは評価できる。
- ⑦ 市内のほぼ全域を網羅する「文化財ガイドブック（3冊）」が完成し、素晴らしい内容となっている、今後、学校での郷土教育や史跡めぐり等での有効活用が期待できる。（同コメント2件）
- ⑧ 文化財マップ等ツールとして、紙媒体用に編集されており、スマホ用のページなどがあれば、より良いと思う。
- ⑨ 文化財の発信などは難しい中よくできているが、学校や他団体との連携を図り、市民に理解してもらえるような取組の支援を検討してもらいたい。

2. 埋蔵文化財の保存・活用

- ① 前田遺跡が調査により新発見され、現状保存されたことはすばらしく評価できる。
- ② 開発との調整に苦労されると思うが、価値の共有化を図るなどの地道な取組をお願いしたい。
- ③ 埋蔵文化財の保存・活用事業が円滑に進んでいた。

3. 郷土芸能の保存・育成

- ① 太鼓踊りを楽しみにしている市民もいる。後継者育成は課題ではあると思うが、去年は島津義弘公フェスタで披露できたことは、PRの良い機会だったと思う。
- ② 郷土に残された貴重な文化芸能の価値をさらに多くの市民に理解してもらえるようPR等に努めていただきたい。
- ③ 多くの団体の後継者育成が課題となっており、今まで連携をしていなかった団体や企業などへのアプローチが必要である。

4. 施設の充実

- ① 歴史民俗資料館は、島津義弘公の特別展を企画開催し、来館者の好評を得たことは非常に評価できる。また開催にあたり県内資料館と連携し、資料貸借や周知広報に努めたことも評価できる。
- ② 歴史民俗資料館は、常設展示の入れ替えや解説パネルの更新、夏季・秋季の特別展等、来館者やリピーターを増やす取組がなされている。

- ③ 義弘公没後400年を記念した特別展や黎明館等とのタイアップ企画は、多くの市民に好評であった。
- ④ 島津義弘公没後400年記念イベントを行ったが、入館者数が思ったよりも少ないように思う。歴史民俗資料館を知らない市民も多いと思うので、PRをしていく必要があると思う。
- ⑤ 加治木郷土館に寄贈資料をいただけたことはとても有り難い。適切な管理と保管をお願いしたい。
- ⑥ 加治木郷土館は、入館者数が思ったよりも少ないように思う。加治木郷土館を知らない市民も多いと思うので、PRをしていく必要があると思う。
- ⑦ 吉原事務所の収蔵庫のスペースが限られた中で、出土品の整理や保存が適正に管理されていると評価できる。
- ⑧ 吉原事務所は貴重な資料が多く、様々にご苦労があると思われるが頑張っていたきたい。
- ⑨ 吉原事務所の運営状況は問題なく事業が実施できているように感じる

図書館事務局関係

1. 図書館のサービス業務と読書活動の充実

- ① 蒲生図書館の図書館だよりは毎月出されている。広報活動は、これからも続けてほしい。
- ② コロナの発生で、図書館でのイベント等に参加できなかつたり、中止を余儀なくされた利用者の方々も多かったと思います。時期をみて利用する方々に楽しみ喜んでもらえる企画をお願いいたします。
- ③ 平成30年度から実施している祝日開館は、市民へのサービス向上につながっている。
- ④ 様々な取組でさらに図書館活動が充実し、市民の読書活動が活性化することを願っている。
- ⑤ 利用者サービスも充実しており、今後も継続してほしい。
- ⑥ ボランティアの活動の状況等のPRがあってもいいのでは。
- ⑦ ボランティアの方々による活動に、本当に頭が下がる思いで有り難いことです。今後も連携を密に、できる限りのサポートをお願いいたします。
- ⑧ 各ボランティアの方々の年間を通した献身的な活動は、図書館運営にとって大変心強い支援となっている。
- ⑨ 子どもたちが読書に興味をもてるよう、様々な仕掛けをしていただき評価している。さらに多くの本好きの子どもが増えるよう頑張っていたきたい。
- ⑩ 市民のニーズや読書意欲の向上を図るために事業が行われている。
- ⑪ 視聴覚ライブラリーの利用方法の周知に期待したい。
- ⑫ サービスの充実と広報を図る必要がある

2. 始良市図書館ネットワークの充実

- ① 各地区公民館図書室との連携が図られ、利用者サービスに対応できていることは評価できる。

- ② 様々な取組で利用者へのサービス向上につながっている。より利用しやすい図書館となるよう頑張っていたきたい。
- ③ 更なる充実を図るために、日々研鑽に励んでもらいたい。また、広報にも力を入れてほしい。

保健体育課関係

<スポーツ振興関係>

1. 生涯スポーツの推進

- ① 各種スポーツやレクリエーションが開催され、多くの市民が体力づくり、健康増進、仲間づくりのために参加できていることは評価したい。コロナウイルスにより対策等大変かと思いますが、必要条件を検討し企画できたらと願っています。
- ② 始良スポーツフェスタや生涯スポーツ講座等に多くの参加者があり、市民の体力づくり、健康増進、仲間づくりが図られている。
- ③ 関係する団体等と連携し、市民がよりスポーツに親しめるよう頑張っていたきたい。
- ④ スポーツやレクリエーション活動は、市民の健康増進や親睦を深めるために効果的なものとなっている。今後も引き続き各種大会や市民講座の実施によって、生涯スポーツ活動の推進を図ってもらいたい。
- ⑤ スポーツ推進委員として各種研修会や各種大会などで生涯スポーツの普及・推進に努めていることは評価できる。スポーツ推進委員の活動を市民に知ってもらいたい。
- ⑥ ニュースポーツの普及にはその競技に精通し指導できる人材の育成が重要である。今後も積極的な支援をお願いしたい。
- ⑦ スポーツ推進委員が生涯スポーツの充実に大きな役割を担っている。今後も研修会などで資質の向上を図っていたきたい。

2. 競技スポーツ、スポーツ環境整備の推進

- ① スポーツに対する組織力の強化や競技力の向上、スポーツ少年団の育成に対し補助金や出場奨励金を交付したことは評価でき、今後も支援を継続してもらいたい。
- ② スポーツ合宿はコロナの影響でキャンセルが発生したが、今後天然芝グラウンドの整備にあわせ、積極的に合宿誘致を頑張ってもらいたい。(同コメント2件)
- ③ 全国大会等出場奨励金に関して、不足になるということがあったようだった。

<学校体育保健関係>

1. 体力・運動能力の向上

- ① 「卒業生が水泳指導」ということが、学校だよりも載せられていた。何年か前の学校の様子も聞くことができる良い取組だと思う。続けてほしい。
- ② 水泳記録会、陸上記録会に向けた各学校での取組により素晴らしい結果が出ていることは評価できる。
- ③ 体育主任研修会により各学校での授業力向上に期待したい。
- ④ 小・中学校体育主任研修会や始良市体力記録アップ始良っ子育成研修会は、中学

校で保健体育の授業が楽しいと回答する生徒が増えるなど教科体育指導法の改善・充実につながっている。

- ⑤ 子どもの体力・運動能力の向上のためには、基本的に体を動かす活動の楽しさを伝えることが重要だと思う。外で遊ぶ習慣が減少する中、遊びの要素を取り入れた指導も必要ではないか。
- ⑥ 子どもの体力が落ちている。基礎的な体力作りのための生活習慣改善を提案するなど、努力が必要である。
- ⑦ 「体力アップ！チャレンジかごしま」の取組が市内全小・中学校で実施されて県のベスト10に多くのクラスがランクインし、学校賞も3年連続で受賞したことは素晴らしい。(同コメント2件)
- ⑧ 日本体育大学より剣道部の監督・選手を招聘し小・中・高生と指導者に研修会、講習会ができたことは、資質向上と選手の強化に繋がるのではないかと思う。
- ⑨ 様々な取組で体力アップが図られている。今後も継続して頑張してほしい。
- ⑩ 教科外体育は計画どおりの活動であった。

2. 健康教育の充実

- ① 健康診断や就学時健診がしっかりと計画され実施されることで、自分では気付かない病気に気づき早期治療へと指導できていることに感謝している。
- ② アレルギーについてもしっかりと把握し、学校全体で共通理解をもって今後も対応をお願いします。
- ③ 学校保健法に基づいた健康診断や就学時検診の実施とその後の対応が的確になされている。
- ④ 多くの事例を共有し、健やかな児童生徒の育成につなげてほしい。
- ⑤ 登下校時に「始良っ子見守り隊」の方々により市内の児童生徒が安全に登下校できていることにとても感謝しています。(同コメント2件)
- ⑥ 不審者情報や各校区の危険箇所について、保護者へもしっかり周知してほしい。
- ⑦ 「始良っ子見守り隊」・「スクールガードリーダー」・「通学路アドバイザー」等との連携が図られ、児童生徒の登下校の安全や学校安全体制の充実が図られている。
- ⑧ 学校安全の充実は例年どおりの活動。
- ⑨ 健康診断、疾病予防対策は例年どおりの活動。

<学校給食関係>

1. 食育の推進

- ① 調理員のスキルアップと栄養教諭と担任の連携をしっかりと図ることで、食に関する指導が充実するよう今後も対応してほしい。
- ② 食育推進の方策として、食育推進校の指定や調理員のスキルアップ研修、栄養教諭の食に関する指導、食育講演会等が実施されている。
- ③ 食育推進の一環として「残食状況調査」についても、ご検討いただきたい。
- ④ 食育推進事業等、命につながる食の重要性を伝える指導をさらに今後も継続してほしい。
- ⑤ 食に関する指導の充実は例年どおりの活動。
- ⑥ セレクト給食・バイキング給食は、子どもたちの楽しみな献立である。提供する

側は大変だろうが、年1回でも行ってほしい。

- ⑦ アレルギー対応食には、徹底した注意をお願いしたい。
- ⑧ 栄養教諭や調理従事者等の関係者の徹底した衛生管理や対応により、食中毒やアレルギーが発生していないことは高く評価できる。
- ⑨ 市統一献立検討会では、バランスの取れた献立が作成され、更に各学校では、「食物アレルギーの手引き」に沿った対応がなされている。
- ⑩ 給食費の未納については問題を抱えていると思うが給食運営委員会に協議し健全な給食運営をされていることも評価できる。
- ⑪ 夏場の調理場の空調設備はどうだろうか。かなり高温になるらしいが、調理員への聞き取りも必要ではないだろうか。
- ⑫ 調理施設・器具・食材等の衛生検査や、それにかかわる方々の健康管理がしっかりとなされ、調理作業の効率化も図られている。
- ⑬ 学校給食衛生管理基準に適合しない施設の改修（部分・全面）については、年次的に取り組んでいただきたい。
- ⑭ 自校式給食室から給食センターへの移行の検討がなされていない。
- ⑮ 調理作業の効率化及び施設設備の修繕は例年どおりの活動。

国体推進課関係

1. 国民体育大会、全国障害者スポーツ大会の実施

- ① 今年の大会実施に向けてしっかり準備されたことと思う。しかし、2023年に延期になるかもしれない。また計画の立て直しをして、改めて準備ということになりそう。昨年度の取組を参考に実施に向けた再準備をしてほしい。
- ② 各専門委員会では実施運営に必要な協議がなされ、市内9事業者から企業協賛をいただきPR活動をできたことはありがたく評価できる。(同コメント3件)
- ③ 国体啓発グッズの配布や広報活動が年間を通して行われており、グッズやのぼり旗を目にすることが多く国体を身近に感じることができた。オリジナルTシャツを着ていたら興味を示した市民から「すごくいいTシャツですね。欲しい」という声がありました。(同コメント2件)
- ④ 2020年実施であれば、校区コミュニティは鉢花育ての協力を行う予定であった。
- ⑤ 花いっぱい運動では、幼・保・小・中・校区に花の苗を配付し、市民総ぐるみで国体を盛り上げる雰囲気づくりとなった。
- ⑥ 福祉事業所と連携し、障害者の雇用促進と社会参加を促進する取組を企画していただいたことは評価できる。
- ⑦ 市民への適切な情報提供など、開催に向けた準備がしっかり行われている。
- ⑧ ライフル射撃競技会でのおもてなし（あご肉カレーや茶ぶしなど）が好評で、ボランティアや市職員の接客も良くトラブルなくできたことは評価できる。790人の来場者があったことも始良市をPRできたのではないかと思う。
- ⑨ ライフル射撃リハースル大会を通して得られた改善点等を本番の国体に生かしていただきたい。
- ⑩ 都道府県ごとに手書きの応援（小・中学生たちの心温まるメッセージ入りのぼり旗）を見て、こちらもうれしい気持ちになった。他県から来られる方々にも伝わ

る企画ではないかと思う。

- ⑪ 国体に向けた役員編成や茨城国体視察、小・中学生の手書きのメッセージやのぼり旗等、事前準備がスムーズに遂行されている。
- ⑫ デモンストレーションスポーツがコロナの影響で中止になったことは残念。
- ⑬ 大会実施に向けた宿泊衛生の手配は業務推進計画に沿って適切に行われている。(同コメント2件)
- ⑭ 大会実施に向けた輸送・交通・駐車場の手配は業務推進計画に沿って適切に行われている。(同コメント2件)
- ⑮ 大会実施に向け念入りに炬火リレーの準備がなされていると評価できる。(同コメント2件)
- ⑯ 大会実施に向けた炬火リレーの準備は計画どおり。
- ⑰ 2020年実施に向けて、計画どおりに適切に行われた。
- ⑱ 早い対応で競技会場の施設がしっかり整備されたと評価できる。(同コメント2件)

始良市教育委員会外部評価委員

番号	氏名	経歴等	備考
1	川原 裕明	加治木高等学校長	学校教育
2	麓 吉雄	学校評議員(元中学校長)	社会体育
3	永田 葉子	元西浦校区コミュニティ協議会 支援員、元小学校長	教育委員会が必要と認める者
4	百武 美津代	元始良市教育委員	社会教育
5	小崎 健一郎	市PTA連絡協議会書記会計	PTA連絡協議会代表者 : 新規

始良市教育委員

番号	氏名	役職等	備考
1	川畑 逸郎	教育長職務代理者	
2	岩元 真美	教育委員	
3	中間 博英	教育委員	
4	藤谷 和泉	教育委員	

○始良市教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則

平成22年3月23日教育委員会規則第5号

(趣旨)

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）第26条の規定に基づき、教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価（以下「点検及び評価」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象及び時期)

第2条 点検及び評価の対象は、法第23条各号に掲げる事務及び教育施策上の重要課題とする。

2 点検及び評価は、毎年度、前年度の前項に規定する事項について行うものとする。

(資料の整理等)

第3条 点検及び評価に資するため、事務局（法第18条に規定する事務局をいう。）は、前条第1項に規定する事項について、必要な資料を整理する。

(教育に関し学識経験を有する者の知見の活用)

第4条 法第27条第2項の規定に基づき、点検及び評価を行うに当たり教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するため、始良市教育委員会外部評価委員会（以下「評価委員会」という。）を設置するものとし、必要な事項は、別に定める。

(議会報告等)

第5条 始良市教育委員会は、評価委員会からの答申を踏まえ、点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、始良市議会に提出するとともに、これを公表するものとする。

(庶務)

第6条 点検及び評価の実施に関する庶務は、教育総務課において処理する。

(委任)

第7条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成22年3月23日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の日の前日までに、合併前の教育に関する事務の点検及び評価の実施に関する要綱（平成21年加治木町教育委員会要綱第1号）又は教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則（平成21年始良町教育委員会規則第1号）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、それぞれこの規則の相当規定によりなされたものとみなす。

附 則（平成30年3月30日教委規則第3号抄）

(施行期日)

1 この規則中は、第1条、第3条及び第4条の規定は公布の日から、第2条の規定は平成30年4月1日から施行する。

(始良市教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則の一部改正に関する経過措置)

4 この規則の施行の際現に在職する教育長の在任特例期間においては、第4条の規定による改正後の始良市教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則第1条の規定は適用せず、第4条の規定による改正前の始良市教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則第1条の規定は、なおその効力を有する。

(設置)

第1条 始良市教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則（平成22年始良市教育委員会規則第5号）第4条の規定に基づき、始良市教育委員会外部評価委員会（以下「評価委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 評価委員会は、始良市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の諮問に応じ、次に掲げる事項について審議し、その結果を答申するものとする。

- (1) 教育委員会の事務の点検結果の評価に関すること。
- (2) 教育委員会の委員の活動状況点検結果の評価に関すること。
- (3) その他教育委員会の点検及び評価に関し必要と認めること。

(組織)

第3条 評価委員会は、5人以内の評価委員をもって組織する。

2 評価委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 学校教育、社会教育及び社会体育に知見を有する者
- (2) 芸術文化関係に知見を有する者
- (3) P T A連絡協議会代表者
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める者

(任期)

第4条 評価委員の任期は、委嘱日から当該委嘱日の属する年度末までとし、補欠評価委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。

(会長)

第5条 評価委員会は、会長1人を置き、評価委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、評価委員会を代表する。

(会議)

第6条 評価委員会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、評価委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席評価委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第7条 評価委員会の庶務は、教育総務課において処理する。

(委任)

第8条 この訓令に定めるもののほか、評価委員会の運営に関し必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

附 則

この訓令は、平成22年3月23日から施行する。

附 則（平成24年6月14日教委訓令第11号）

この訓令は、告示の日から施行する。